



今城 克啓 議員

時代は変革期を迎えており、地方分散型の社会に向かう好機であると考えます。

問 テレワークやワーケーションおよびサテライトオフィスなどによって市外の企業や企業の社員を誘致するためには、複数の関係部局と民間が一緒になつて営業を進めなければならないが、今後どのように営業を進めていくのか。

答 政策的な体制でプロモーションなどを実施していきたいと考えています。また、来年

地方分散型の社会に向けたまちづくりについて

問 テレワークやワーケーション等についてどのように営業を進めていくのか

答 全庁的な体制でプロモーションなどを実施していきたいと考えています。

度は「企業版高島縁人」の検討を進めるとともに、ニーズを把握し、プログラムの提供等について民間事業者との連携により検討する予定です。



問 近江今津駅周辺には文化的にも歴史的にも価値が高い資産が集中し、独特の景観を形成している。江若鉄道の近江今津駅舎保存に向けて、市として何らかの支援を行うことも必要と考えるが。

答 教育総務部長 必要に応じて関係者に文化的価値等についてご説明させていただく用意はあります。

問 近江今津駅周辺について、どのように人の流れをつくるのかをしっかりと検討した上で、市有地や公園および駅前

などの整備方法を検討する必要がある。

また、JRの本数増加に結びつくように検討することも重要と考える。これらのことについて、今後どのように検討され、今津駅前周辺地域まちづくり構想にどのように盛り込まれるのか。

答 商工観光部長 体験型のまち歩きができるようにして、人の流れをつくる考え方をベースにしつつ、一方、JRの本数増加につながる魅力的なまちづくりや観光地として整備を図っていくためには、民間の知見やノウハウを活用し、官民連携の枠組みを構築することも課題です。まずは、庁内での検討を進めてまいります。

その他の質問

○高等専門学校の高島市への誘致について